

申請先：財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号： ★APPLICで記載

(1) 対象標準とバージョン
・プラットフォーム通信標準仕様V2.0 ・アーキテクチャ標準仕様V2.0

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日)：

(b) 申請区分(新規、修正、破棄)：

(c) 申請者
 団体名： ★識別キー項目1
 団体のURL： (識別キー項目3つで
 APPLIC会員番号： ユニークになるように
 申請者が指定する)

(d) 製品情報
 製品説明のURL： ★識別キー項目2
 代表製品名：
 複数製品で構成する場合追記：
 複数製品で構成する場合追記：
 複数製品で構成する場合追記：
 製品識別情報(バージョン等)： ★識別キー項目3
 リリース日(予定)(西暦年月日)：
 対応OS：

(3) PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

| 番号 | 準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号) | 製品を申請する対象に「○」⇒ | | PF対応のSOAPミドルウェア製品申請 | | サイト内のPF通信製品申請 | | サイト内・外対応のPF通信製品申請 | |
|-------|--|----------------|-----------|---------------------|------------|---------------|------------|-------------------|------------|
| | | 必須/選択 | サイト内/外/共通 | V1.0対応 | 製品・システム確認欄 | APPLIC確認欄 | 製品・システム確認欄 | APPLIC確認欄 | 製品・システム確認欄 |
| 1 | 【ミドルウェア的要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能) | | | | | | | | |
| 1-1 | HTTP通信(IPv4, HTTP1.1)を行えること (CS-R020001, CS-R020002) | 必須 | 共通 | V1.0 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 1-2 | SOAP通信(SOAP1.1, document/literal, WS-バースックロファイル1.0)を行えること (CS-R020003, CS-R020004) | 必須 | 共通 | V1.0 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 1-3 | サイト内における通信セキュリティを実現できること | | | | | | | | |
| 1-3-1 | SSL3.0(TLS1.0)のサーバ認証が利用可能であること (CS-R050001) | 選択 | サイト内 | V1.0 | ◎ | ◎ | | | |
| 1-3-2 | SSL3.0(TLS1.0)のクライアント認証が利用可能であること (CS-R050001) | 選択 | サイト内 | V1.0 | ◎ | ◎ | | | |
| 1-3-3 | HTTPバースック認証が利用可能であること (CS-R050001) | 選択 | サイト内 | V1.0 | ◎ | ◎ | | | ◎ |
| 1-3-4 | SSL3.0(TLS1.0)による通信路暗号が利用可能であること (CS-R050002) | 選択 | サイト内 | V1.0 | ◎ | ◎ | | | ◎ |
| 1-4 | サイト間における通信セキュリティを実現できること | 必須 | サイト間 | | | | | | ◎ |
| 1-4-1 | SSL3.0(TLS1.0)のサーバ認証が利用可能であること (CS-R050001) | 必須 | サイト間 | | | | | | ◎ |
| 1-4-2 | SSL3.0(TLS1.0)のクライアント認証が利用可能であること (CS-R050001) | 必須 | サイト間 | | | | | | ◎ |
| 1-4-3 | SSL3.0(TLS1.0)による通信路暗号が利用可能であること (CS-R050002) | 必須 | サイト間 | | | | | | ◎ |
| 1-5 | 添付ファイルのサポートができること | | | | | | | | |
| 1-5-1 | SOAP Messages with Attachmentsが利用可能であること (CS-R020007) | 選択 | 共通 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1-6 | 異常系処理に対応できること | | | | | | | | |
| 1-6-1 | メッセージ送信側のSOAP処理系は、TCP/IP, HTTPレベルで検知した障害を、MEP実行系を持つ上位アプリケーションに通知できること (CS-R060005) | 必須 | 共通 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2 | 【サービス基盤的要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能) | | | | | | | | |
| 2-1 | 標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001) | 必須 | 共通 | V1.0 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-2 | 標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること | 必須 | 共通 | V1.0 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-2-1 | PF準拠のWSDL定義に対応するサービスインタフェースを提供できること (CS-R032003) | 必須 | 共通 | V1.0 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-2-2 | PF準拠のWSDL定義に対し公開されるサービスを利用できること (CS-R032003) | 必須 | 共通 | V1.0 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-3 | 標準仕様書で定義する電子封筒形式のメッセージを交換できること (CS-R020005) | 必須 | 共通 | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-4 | 標準仕様書で定義する添付ファイルの形式に対応できること | | | | | | | | |
| 2-4-1 | メッセージ本体格納型および添付型で添付ファイルを交換できること (CS-R020007) | 選択 | サイト内 | | | ◎ | | | ◎ |
| 2-4-2 | メッセージ本体格納型および添付型で添付ファイルを交換できること (CS-R020007) | 選択 | サイト間 | | | | | | ◎ |
| 2-5 | 標準仕様書で定義するデータ交換システムパターンに対応できること | | | | | | | | |
| 2-5-1 | サイト内における通信では5つのデータ交換システムパターンのうち一つに対応できること (CS-R020009) | 必須 | サイト内 | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-5-2 | サイト間における通信では、Type1, Type2, Type4の3つのデータ交換システムパターンに対応できること (CS-R020011) | 必須 | サイト間 | | | | | | ◎ |
| 2-6 | 標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンと異常系処理に対応できること | 必須 | 共通 | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-6-1 | メッセージ交換パターンとして、「リクエスト型受領Ackあり」「リクエスト・レスポンス同期型レスポンス」「リクエスト・レスポンス型受領Ack+非同期型レスポンス」の3つのパターンを利用できること (CS-R060001~CS-R060004) | 必須 | 共通 | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2-6-2 | メッセージ交換パターン処理系にて、障害を検知した場合、標準仕様書で定義する異常系処理を行えること (CS-R060006, CS-R060007, CS-R060009) | 必須 | 共通 | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

備考欄(前提事項や制限事項)

・DIME, MTOMであれば添付ファイルをサポート可能。SwA仕様の場合には、SwAIにXOPを適用し、XMLInfoSetの概念を導入したものと解釈